

一般社団法人 埼玉県建設産業団体連合会
2024年度事業報告

1. 建設産業に関する調査研究・提言

(1) 建設産業に関する調査研究について

連合会会長が、一般社団法人全国建設産業団体連合会の活動に参加し、建設産業の全国的な状況について把握した。

- ① 全国建産連通常総会（6月27日）
- ② 生産システム委員会（8月26日、3月17日）
- ③ 会長会議（9月24日）

(2) 提言・要望について

政治・行政機関と意見交換会を実施し、建設産業の現状や改善策について論議するとともに、埼玉県予算に対する要望を行った。

- ① 埼玉民主フォーラムとの政党要望意見交換会（9月17日）
- ② 公明党埼玉県本部意見交換会（7月31日）
公明党との政党要望意見交換会（9月17日）
- ③ 自由民主党埼玉県支部連合会との意見交換会（9月20日）

【要望事項】

- 1) 公共事業予算の増額確保と県内業者の受注の拡大について
- 2) 担い手の確保・育成及び働き方改革の促進について
- 3) 専門工事業における価格転嫁の推進について
- 4) 建築設計業務における適切な入札参加要件の設定と入札制度改革について
- 5) 測量、地質調査・設計等の委託業務における最低制限価格の引き上げ等について

2. 建設産業に従事する者の能力開発及び経営改善の支援

(1) 研修会等実施状況について

① 建設産業研修会（第1回）

講 師 株式会社建設経営サービス 提携講師 森川 あやこ 氏
日 程 11月13日 参加者25名
演 題 『若手が選ぶ！育つ現場・職場づくりに欠かせない！
現場管理者のコミュニケーション！』

② 建設産業研修会（第2回）

講 師 株式会社建設経営サービス 提携講師 阿部 守 氏
日 程 1月22日 参加者20名
演 題 『改革・改善のための戦略デザイン「建設業DX」』

③ ドローン研修会

・ ドローン体験会

講 師 一般社団法人全国建設産業団体連合会 ドローン認定講師

日 程 6回開催（7月17日～18日、12月5日～6日）

※1日程で3回開催 参加者合計35名

・ ドローン実務研修会（栃木県・茨城県建設産業団体連合会との共催）

講 師 一般社団法人全国建設産業団体連合会 ドローン認定講師

日 程 3回開催（5月～10月に栃木県・茨城県会場にて訓練・試験を実施）

備 考 埼玉・栃木・茨城3県合同で受講者を募集。

④ 新入社員研修

講 師 富士教育訓練センター 花輪 孝樹 氏

日 程 5月30日～31日 参加者26名

⑤ フォローアップ研修

講 師 富士教育訓練センター・株式会社建設産業振興センター 講師

日 程 11月14日～15日 参加者6名

⑥ 現場指導者育成研修

前半開催分（6～8月：ポリテクセンター助成事業）

講 師 一般社団法人中部産業連盟 小久保 宏樹 氏

日 程 3回開催（6月11日、7月22日、8月20日） 参加者合計30名

後半開催分（9～11月：埼玉労働局助成事業）

講 師 株式会社インソース 栗原 俊哉 氏

日 程 3回開催（7月4日、9月24日、11月20日） 参加者合計57名

⑦ ベテラン世代との関わり方（年上部下・協力会社員）研修

講 師 株式会社インソース 栗原 俊哉 氏

日 程 2回開催（6月27日、10月28日） 参加者合計33名

⑧ 若手技術者・技能者を中心とした安全衛生レベルアップ講座

講 師 株式会社建設産業振興センター 中込 平一郎・宮澤 政裕 氏

日 程 4回開催（9月～12月まで月1回） 参加者合計60名

⑨ 若手職員向けのICT技能向上セミナー（ポリテクセンター助成事業）

講 師 一般社団法人全国建設産業団体連合会 山田 安良 氏

日 程 2回開催（1月16日、17日） 参加者合計21名

（2）埼玉県建設産業担い手確保・育成ネットワーク事業について

各々の構成団体が担い手育成のための研修等の事業を実施した他、実務担当者で、入職促進を目的としたホームページのコンテンツ収集・作成等を実施。

① 総会（3月25日予定）

② 幹事会（4月25日、8月1日、10月31日、1月31日）

③ その他 「強い経済の構築に向けた埼玉県戦略会議」

人手不足対策分科会（7月31日、8月26日、11月18日、1月23日）に出席

3. 建設産業に関する啓発宣伝事業

(1) 季刊誌『建産連ニュース』の発行について

第180号(4月)から第183号(1月)まで各2,000部発行し、会員団体及び官公庁等へ配布した。

(2) 第46回ポスター・絵画コンクールの実施

① 応募状況

県内の幼稚園～中学校の生徒を対象に、ポスター・絵画を募集した。

57校から417点の応募があり、さいたま市教育委員会等の審査員による審査を経て入賞作品79点を選定した。

② 優秀作掲示

優秀作品は、12月から県庁渡り廊下、所沢駅東口市民ギャラリー、熊谷市立文化センター、建産連会館ロビーで展示を実施。また、連合会ホームページでも公開した。

③ 建産連NEWS特集号(別冊)の発行

全入賞作品を掲載した建産連NEWS特集号を発行し、作品応募のあった保育園・幼稚園、小・中学校等や関係機関に配布した。

④ カレンダーの作成

入賞作品を掲載したカレンダーを作成し、入賞者、会員団体及び一般に配布した。

4. この法人が所有し、会員建設産業団体が入居する建物の運営

(埼玉建産連会館及び埼玉建産連研修センターの管理運営)

(1) 研修センターの利用状況について

コロナウイルス感染症による社会的な制限は無くなったものの、研修会のオンライン化等による影響が続いており、流行発生前の売上まで回復していない。

一方で、飲食を伴うイベントの再開や、新規顧客の利用などが増加傾向であり、全体的な売上の低下を押しとどめている。

(2) 設備修繕等について

建産連会館の冷暖房設備(1、2階一部、6階)が、部品入手不能で修理できない状況となっているため、12月～1月にかけて交換工事を実施した。

また、同様に修理不能が見込まれる研修センター冷暖房設備については、次年度に入れ替え工事を行う方向で準備を進めている。

5. 法人事業

(1) 法人の運営に係る各種会議の開催

法人の運営に係る各種会議の開催や、全国組織との連携を図った。

- ① 第45回通常総会（6月12日）
前年度事業報告・決算、本年度事業計画・予算、役員の選任等を決議、承認した。
- ② 監事監査の実施（5月8日）
- ③ 理事会の開催（5月21日、6月12日、12月10日、3月25日）

(2) 専門委員会の開催

- ① 広報委員会（4月24日、7月24日、10月22日、1月29日）
- ② 総務委員会（7月19日）
- ③ 研修指導委員会（7月30日）
- ④ 経営改善委員会（本年度未開催）

(3) 会員団体との連携

- ① 会員団体からの要請を受け、催事の共催を行った。
 - ア 『卒業設計コンクール』（4月21日審査 一般社団法人埼玉建築設計監理協会）
 - イ 『建設業経営講習会』（8月7日開催 一般社団法人埼玉県建設業協会）
- ② 委託関係団体の意見交換会の開催
委託関係団体から要請を受け、委託業務に係る最低制限価格制度が未導入及び設定レベルが低い市町村への働きかけについて、意見交換を行った。
意見交換会（8月28日、11月25日、2月5日）
メンバー：連合会会員6団体及び賛同2団体の会長等
- ③ 連合会ホームページを運用し、国や県等からの各種通知を電子メールにて迅速に情報提供を行った。
- ④ 会長が、全国防犯協会連合会及び埼玉県暴力追放・薬物乱用防止センターの役員として事業遂行に協力した。

(4) 一般社団法人全国建設産業団体連合会との連携

会長が参加した1（1）の会議等の他、次の活動等を行った。

- ① 専門工事業委員会
埼玉県型枠工事業協会の白戸修会長が、専門工事業委員会の委員として専門工事業者の処遇改善方策や担い手確保の方策等について検討を行った。
 - ア 専門工事業委員会（8月26日、11月6日、3月17日）
 - イ 関東甲信越ブロック会議（10月28日）
 - ウ 全国会議（12月4日）
- ② 全国建産連会長表彰
建産連の活動、建設産業の発展に多大な貢献があった方への全国建産連会長表彰があり、当連合会から推薦した松尾康司様、及川修様の2名が表彰された。

(5) 優秀施工者国土交通大臣表彰（建設マスター）

建設産業の第一線でものづくりに直接従事している建設技術者の中から、特に優秀な技能・技術を持ち、後進の指導・育成等に多大な貢献をしている方を国土交通大臣が表彰する「建設マスター」として、当連合会から推薦した池田英司様が表彰された。

(6) 事務局業務について

① 研修事業における助成金等の活用

研修事業等においては、各種機関の助成金事業を活用して展開した。

ア 一般財団法人建設業振興基金

- ・ 建設産業活性化助成事業（ポスター・絵画コンクール）
- ・ 利子補給助成（改修工事資金借入）

イ 厚生労働省埼玉労働局

- ・ 人材確保等支援助成金

ウ 独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構（ポリテクセンター埼玉）

- ・ 生産性向上支援訓練（オーダーコース）
- ・ 生産性向上支援訓練（クラウド活用コース）

② 少人数での組織運営を円滑に実施するため、業務の効率化・情報共有を強化した。